

札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会 経済・雇用部会（川崎委員提出資料）

1) SAPPORO=魅力的なブランド となるために

《SAPPORO スタイル・SAPPORO デザイン》の確立。

SAPPORO スタイルを新たに「創造」して、食や住環境を中心にしたライフスタイル先進都市に。→そこから生まれる産業！

元々札幌はタウンシップとしての開発で、歴史や郷土色などの面白みはあまり感じられない。そこを逆手にとって、魅力的な都市（背後には雄大な北海道の自然をたたえ、札幌を起点にグルメな旅、グリーンツーリズムも楽しめるといふ）のイメージを、さまざまなモノにおおいかぶせて統一イメージを創る。

それは都市のブランドでもあり、札幌のライフスタイルのキャッチフレーズでもあり、製品の内包するイメージでもある。

大括りな言葉だが、それを「SAPPORO スタイル」として確立できないだろうか。

イメージするのは、都市と自然を融合させた「北欧スタイル」に近いもの。

酪農王国であり、近年は世界トップレストラン『NOMA』の登場でがぜん「食分野」最左翼となったデンマーク。優れたインテリアや家具でデザイン先進国のスウェーデン。森と水の国ノルウェー。それぞれ、札幌・北海道の魅力として潜在的にあるものだ。こうしたものを、融合させ、都市の魅力として鮮明にアピールできる「SAPPORO デザイン SAPPORO スタイル」を創成する。衣食住にわたり、多岐に、そして道内のみならず国内外のアーティストを参加させてもよいだろう。（ユネスコ創造都市となる札幌に相応しい活動と広報に繋がる）。

そこから生まれる文化交流、都市の活性化が同時に経済を呼び込んでいく。

SAPPORO スタイルはいわば「コンテンツ」だ。コアになるコンテンツがはっきりと確立できれば「モノ」「コト」「ヒト」、そして「カネ」はついてくるものである。

文化・産業・観光など多ジャンルを横断的にひとつのイメージ、ひとつの言語で語れることは、そのまま雄弁なシティプロモーションとなり、都市の活性化を喚起させ、産業振興のビジネスモデルを広げていく。

2) 食ジャンル経済活性化の「仕掛け・話題作り」

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（HFC 特区）という利点を最大限に活用していくなかで、内外への話題作りが必要→経済活動に直結する「食の文化活動」を考える

★食の世界的な祭典の研究。あるいはコラボレーション

たとえば、

- パリの通りが農場になる！といわれ、フランスの一般の人々にも絶大な人気がある

「パリ農業国際見本市Salon international de l'Agriculture à Paris」

<http://www.salon-agriculture.com/>

- 日本では伊勢丹がデパートの歳時としてすでに10年のキャリアを誇り、パリに観光ツアーまである「チョコレート見本市（サロン・ド・ショコラ）」

<http://www.salonduchocolat.fr/accueil.aspx>

- ブルゴーニュ（収穫期の秋）ボルドー（6月）などのフランスのワイン祭
 - イタリアのブラに生まれた「スローフード」運動の祭典「サローネ・デル・グスト」
- 以上を研究して、札幌ならではのオリジナルの食の見本市（なじみのいい言い方だと「祭典」ですが、お祭りではなく、きちんと経済に結びつくもので考えないとお金の無駄になります）を創成していく。あるいは、海外のものをコラボレーションで日本開催（それが札幌！）というのもインパクトがあるだろう。従来の都市と都市の国際交流から、さらに枠組を替えて、食の国際イベントの交流が本格的にできると素晴らしい。これらのイベントは、基本的に業者とジャーナリスト向けのプロ仕様なのだが、市民参加型というところも面白い。ソーシャルネットなどで話題を仕掛けるなど、観光の目玉に大化けもする可能性の高いイベントである。

北海道らしい食の祭典をHFC特区を記念に実施できると食都札幌の認知が深まり、かつ内外にビジネスも広がるきっかけになるのでは？

★食をテーマにした文学賞や映画祭など、札幌市ならではの食と文化とを結びつける活動はできないか？

3) 文化芸術基本計画について

クオリティも志も高い文化芸術の取り組みを継続させながら、いかに拡充していくか、外に向けての発信テコ入れも検討。

文化芸術イベントとして1990年に始まったPMFは札幌が誇る素晴らしい活動。さらに内外に周知させ、ホットな話題を提供していく仕掛け作りを考えたい。(ローザンヌバレエコンクールで、日本人がトップになるとあれだけ話題になるのに・・・!!)
一方でリタイア層にも人気の高いジャズ。サッポロ・シティ・ジャズ事業は観光誘致も含めた取り組みで拡充させていくなど、既存の活動の成長のさせかたが課題と思います。